



〒 311-3501茨城県行方市芹沢1552
 TEL 0299-55-0138 FAX 0299-55-3454
<http://www.tamatsukuri-th.ibk.ed.jp>



12月22日(金)閉講式 校長訓話



生徒の皆さんこんにちは。いよいよ明日から冬休みとなります。

本日は、これからの社会を生きていく皆さんに、私から見た現在の社会の状況についてお話をし、皆さんがこれからのように進んでいったらよいか、参考にさせていただければと思います。まずは、玉造工業高校生の将来は明るいと言うことをお伝えします。

これからの社会は、変化が激しく、予測が困難であると言われていています。変化が激しいとは、インターネット等の普及により多くの情報を誰もが、瞬時に知ることができるようになり、新しい商品を考えても、すぐに真似をされ、更に進化したものが次々と現れるということです。そのため、企業間の競争は相当激しいものとなっていきます。Iphonなどが毎年のように新しい製品を作り出すことを見ればわかると思います。

予測が困難ということは、電気自動車ステラのように今までは車と全く違う産業から今までの生産方法とは全く違うやり方で、業界に現れる企業が出てきたり、メルカリやユーチューバーやテックブックをパスらせる企業など、今までにない全く新しい産業や仕事生まれ、短時間のうちに大きく発展するような環境となっているということです。

まず、これからの社会における職業についてお話します。AIが人類に及ぼす影響についてですが、イギリス オックスフォード大学のマイケルAオズボーンという人が10年前に「10～20年後には、日本の今ある職種の約半分がAIによって代替される」という論文を発表し、大きな話題を呼びました。実際に10年が経とうとしていますが、そこまで早くAIに奪われてしまっていないようです。しかし、スーパーのレジなどは無人化されたり、ファミレスの配膳にロボットが使われたりと、徐々にAIに仕事が奪われていると思います。今後、今ある業種、職種の多くがAIに変わっていくことは間違いないと思います。

AIに奪われる仕事とはどのようなものかということになりますが、単純な製造業、システムエンジニア、営業、経理など、全ての職業、業種が将来は少数の人間を残し、AIに取って代わっていくと考えられます。単純な作業はAIロボットが人間に代わっていきます。さらに、コンピュータのプログラミングなどのデジタルな仕事もAIによって、人間から置き換わっていくと考えられます。AIに奪われないで人がやる仕事で、国籍や年齢、性別を問わない仕事もあります。農業や建築などの日本にいる外国人研修生が担っている仕事やタクシーやトラックの運転手の仕事は、簡単にAIに置き換えるのは難しいようです。また、人を楽しませるようなサービスを提供する仕事は人がやる仕事としてこれからの社会で増えていくように思います。このような仕事は人の感情が必要となりますので、人が対応しなければならないからです。AIに奪われない仕事であっても、資格や高い専門性が必要とされる仕事を除いては、労働条件が厳しい職業も多いように思えます。

そして、生徒の皆さんが最も関係するスペシャリストの仕事は、単純な組立作業等を除いて、製造業(ものづくり)は試行錯誤の仕事です。日本の製造業はアナログ的な仕事が多く、人の手による調整が多く存在するため、その仕事の全てをAIに置き換えることができない仕事と言えます。大量生産になじまないものづくりや機械ではできない微調整を行うようなものづくりは、AIで行うのは難しい仕事です。まさに、スペシャリストが必要な職業となります。さらに、AIを使ったものづくりであっても、多くはAIと機械を組み合わせたものとなりますので、そのメンテナンスは人が行わなければならないと思います。そこにもスペシャリストが必要となり、工業高校生の力を発揮する場は多くあると考えられます。

では、なぜ玉造工業高校生の未来は明るいのかということですが、日本は今も昔も製造業によって成り立っている国です。社会の変化によって、競争が激しくなり、ものづくりの国である日本の企業も余裕がなくなってきました。今までのように、学歴だけで人を採用することも少なくなり、必要な人材を厳選して雇用するようになってきています。そのため、大学で凄いスキルを身につけている人材は採用されますが、ただ、大学を出ただけの人は、たとえ優秀な大学を卒業したとしてもなかなか採用されないのが現状です。

それに比べ、工業高校生は現在、金の卵と考えられます。それは次のような理由によります。

- ① 工業高校生は入学したときから働くという気持ちを持っていると考えられています。明確な目的もなく普通高校や大学に行った人材とは大きく異なり、スペシャリストになりたい人材と考えられています。
- ② そして、授業や実習を通して専門的なことの基礎・基本を理解していること。
- ③ 3年間の学校生活を通して、あいさつをすることや礼儀、規律を守ることなど、社会人として必要な力を身につけていると考えられています。

④ しかし、皆さんは決してスペシャリストではありません。ですが、企業からの期待は大変大きいものです。その理由は、高校卒業という発達段階の中で、数年間でその企業が必要とする専門性を身につけさせるとともに、社会人としてのスキルを身につけさせて、ものづくりのスペシャリストにすることができるからです。このことは、大学生に求めるものと大きく違うところです。企業が人を1人採用することは、生涯の賃金で計算すると約3億円の投資をするということになります。そのため、採用するにあたっては大変慎重になることは言うまでもありません。

最後に、皆さんが金の卵として見てもらうために、今やらなければならないことを申し上げます。まずは、休まず、遅刻もしないで学校に登校することです。そして、授業や実習に一生懸命取り組み、満足な成績を収めていくことです。

さらに、高校生活の中で、部活動や資格取得など目標を持って一生懸命に取り組むことです。

皆さんには、明るい未来が、現実のものとして卒業の先にあるわけですから、そこにたどり着くために、今玉造工業高校で何をすべきか、今一度、この冬休みによく考えてみてください。

12月22日(金)閉講式 生徒指導部長講話

「事件事故にあわないようにしてほしい」

11月に2件の新聞記事を目にした。

○県西地区の大麻取締法違反で逮捕された記事

(深夜コンビニに停めた車にいたところを職務質問したところ乾燥大麻を所持していたことから高校生2人を含む3名が現行犯逮捕された)

○県北地区の恐喝で逮捕された記事

(知り合いの高校生を殴るなどして暴行を加え、現金2000円を脅し取った疑いで高校生2人を含む3名が逮捕された)

なぜ、「事件事故にあわないようにしてほしい」ということを強調しているかということ、実際に高校生が逮捕される事案が発生しているからです。しかも、皆さんと同じ県立高校に通う15～18歳の生徒が逮捕されているからです。

気を付けてほしいことはたくさんあるが特に以下について注意してほしい。

1. 金銭トラブル・闇バイト

SNSで「高額収入」「1件10万」「荷物を送るだけ」「詳しくはDM」など直接地元の先輩に誘われて断りづらい、友人に誘われて興味本位でということが多い

→身分証の提示を要求する、SNSでやりとりをする

→「1回10万もらったらやめよう、アカウントかえれば良い」

→「このことをばらす(脅し)、家に行く」

→「もう一度だけ」・・・闇バイトに染まっていく

※しかも収入が約束されてはいない、報酬なしのケースが多くある

絶対に手をださないようにしてほしい。この時期でいえば、原付の免許を生かした年賀状の郵便のアルバイトや参拝客に対応する神社でのアルバイトを選んでほしい。

2. 大麻

嘘と思うかもしれないが、実際に高校生の逮捕者が出ている。少年非行のデータでは令和5年の大麻で検挙された数は増加傾向。入手経路はSNSでのやりとりが発端になっていることが多い。喫煙で補導される少年の数も増えていることから、いつタバコが大麻になるかわからない。初期段階を考えると高校生が喫煙に手を出さないことが大事。

大麻は覚せい剤への入り口でもある。タバコの時点で踏みとどまれるようにしてほしい。

3. 交通事故・暴走行為

近隣の事故の特徴として追突事故(よそ見、わき見)が多い。前を見ていればよけられる防げる事故が多い。スマホを見ながら、友人と並走しながらなど絶対にしないようにしてほしい。以前も話したが道路交通法違反は学校の校則ではどうしようもない。いい子なので、内定をもらっているのでは言い訳にならない。

自動車の免許取得後の年末年始の高校生の死亡事故は必ず毎年起きている。死亡事故にもつながるので、楽しさやその場の雰囲気に向けて事故をしないようにしてほしい。

これも今年度に高校生の検挙があったケースですが、バイクの暴走行為・集団暴走に参加しない、見に行かないを徹底してほしい。今の警察の系統的に即座に逮捕のケースは少ない。春ごろになって暴走行為の件で遡って逮捕、その時には会社の入社式を終えていたがくびになりまずということのないようにしてほしい。

(要旨)



12月22日(金)表彰式

●令和5年度 鹿行地区障がい者スポーツ交流大会

ボランティア活動証明書

生徒会(1A田口拓 1B森圭吾 1B折笠愛未 2B青木颯

2B上地雄太 2C佐伯叶夢 2C並木稜 2C長谷川将紀

2C茂木翔汰 3C青山 空)

●第73回”社会を明るくする運動”市民標語

優秀賞 3D 久保 佑河

優良賞 3D 櫻井 大智



たまこう行事予定

1月18(木) 課題研究発表会(各科)

1月19(金) 課題研究発表会(各科の代表発表)

1月19(金) 3年学年末考査日程発表

1月26(金) ～31(水) 3年学年末考査

1月26(金) 3年生による合格体験発表会

1月31(金) 1・2年学年末考査日程発表

2月 6(火)～9日(金) 1・2年学年末考査

2月16(金) 進路講話

1月9日(火)開講式 校長訓話

生徒の皆さん、明けましておめでとうございます。冬休みは、いかがでしたか。12月の閉講式では、冬休みを利用して、皆さんが金の卵として見てもらえるために、今玉造工業高校で何をすべきか考えてみて下さいと話しました。

何か目標を持った人もいますと思いますがもし、まだ考えていない人がいたら、新しい年となりましたので是非考えてみて下さい。

では、新聞の社説を2つ紹介したいと思います。

一つ目は

○ 給食無理強いは良くないけど という題です。40代の母親の方が書いたものです。

夕食を食べている時のこと。「お母さん、給食はね、嫌いな食べ物は残していいんだよ。一口だって食べなくていいんだよ」と小学1年生の息子が得意げに話した。無理強いがないのが今のやり方なのだろうが「今日は魚だったけど、16匹残ってた」と聞くと胸が痛んだ。

私たちの小学校時代は「給食は絶対に残してはいけない」が当たり前だった。私自身、苦手な野菜があり、家では絶対食べなかったが、給食だと意外に食べられたりした。

もちろん、強制は良いことではない。ただ、今の子ども達には挑戦をしたり、困難を乗り越えたりする機械があまり与えられていないように思う。

○ もう一つは 本気の努力は自分を幸せにする 高校生が書いたものです。

私は吹奏楽部員です。部では様々な演奏会やコンテストが開かれますが、一番好きなのはアンサンブルコンテストです。数人でグループを組み、自分たちで曲を決め練習していきます。上位は地区大会に出場します。私にとって今年が最後のコンテストでした。後輩2人とクラリネット三重奏のグループを作りました。朝早くや昼休みに学校で集まったり、休日にカラオケルームで練習したりして、これまでで一番練習しました。本番では、練習の成果を出し切れるように全力を尽くしました。練習ではできていたのに緊張でできなかった事もありましたが、3人の力が確実に上がったのを実感しました。

何かをする時に楽な方を選びがちな私ですが、本気で努力することは自分を幸せにすると思いました。

というものです。本校は7割が卒業後に地域の製造業などで働く人材を育成する学校です。そのため、普通高校と比べると授業や実習を含め様々な学校生活で厳しいところが多いかもしれません。

また、実習や部活動などを通じて仲間と協力して一つの目標に向かって努力したりすることも多いともいます。挑戦する気持ち、困難を乗り越える努力が学校生活の中に多くある学校だと思えます。そして、それを皆さんが実践して、乗り越えている素晴らしい学校だと感じています。このような実践は皆さんの将来の幸せに確実に繋がっています。

金の卵になり得る皆さんは、玉造工業高校生という価値の高いブランドそのものです。新年にあたり、今年、何をすべきか考え、是非、実現してもらいたいと思います。

令和6年が皆さんにとって、学校にとっても素晴らしい年となりますことを祈念いたしまして、開講式のあいさつといたします。

1月10日(水)PTAマナーアップ°



1月10日(水)朝、本校昇降口付近にてPTAマナーアップが行われ、多くの保護者、教職員及び生徒が参加しました。

